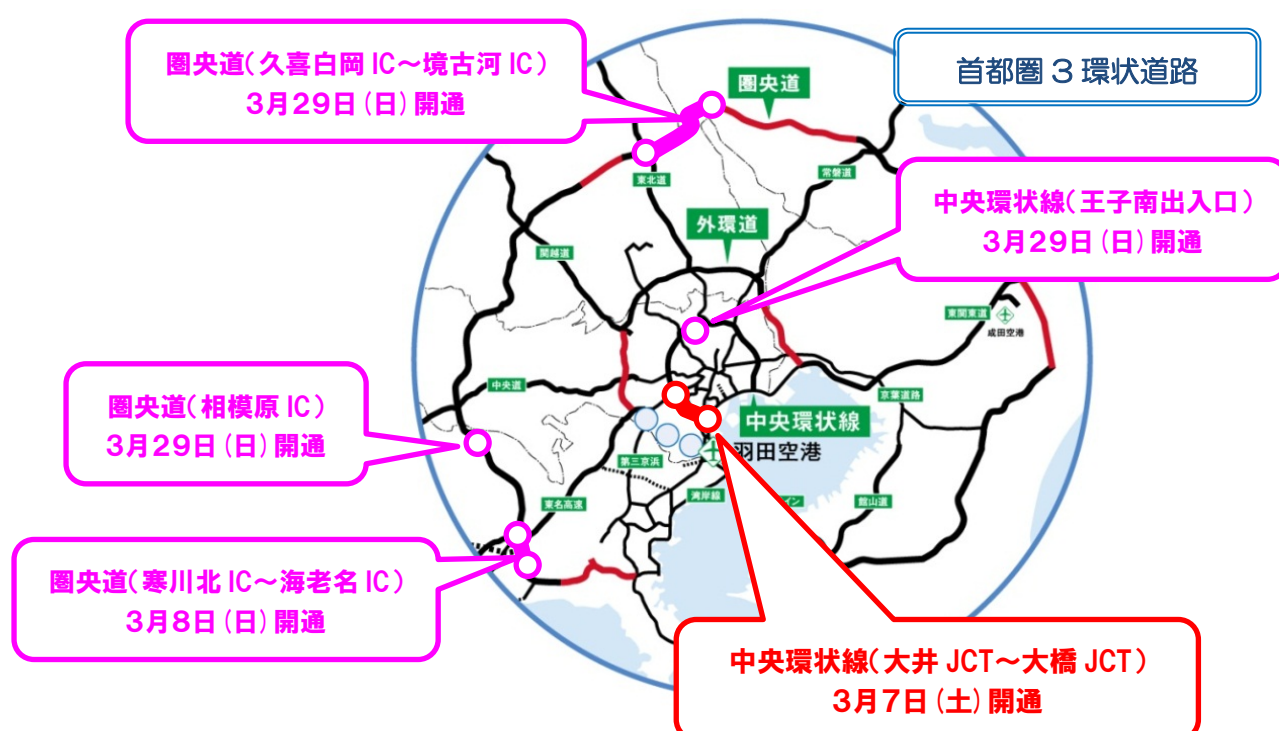


## 《中央環状線について》

首都高速中央環状線は、圏央道・外環道とともに「首都圏3環状道路」を形成し、都心から半径約8kmの最も内側に位置する延長約47kmの環状道路です。新宿や渋谷などの副都心、ベイエリアをつなぎ、一層の連携を図ることにより首都圏の国際競争力の強化が期待されます。

今回、湾岸線の大井JCTから大橋JCTに接続する約9.4kmがつながり、中央環状線が全線開通するとともに、首都圏3環状道路の最初のリングが完成しました。



## 《今回開通区間の概要》

今回開通した区間は、中央環状線（全長約47km）の南側部分を形成し、高速湾岸線から分岐したのち、目黒川及び環状第6号線（山手通り）の地下空間をトンネルで北上し、大橋JCTにて中央環状新宿線及び高速3号渋谷線に接続する路線です。

山手トンネルは、大橋JCTで開通済み区間（渋谷線～池袋線）と接続されて、合わせて約18.2kmになり、関越自動車道の関越トンネル（約11km）を大きく超えて、道路トンネルとして日本一の長さとなりました。

（開通区間）大井JCT（品川区八潮三丁目）～大橋JCT（目黒区青葉台四丁目）

（延長）約9.4km（トンネル構造約8.4km、高架構造約0.6km、擁壁構造約0.4km）

（車線数）4車線（片側2車線）

（出入口）入口1箇所（五反田）、出口2箇所（五反田、中環大井南）